

令和6年度

第1回

北広島市公共施設等総合管理計画策定検討委員会

議 事 録

令和7年2月27日(木)

市役所3階 3D会議室

北広島市 財務部 契約管財課

日 時	令和7年2月27日(木)18時00分～19時40分
会 場	市役所3階 3D会議室
出席委員 (敬称略)	天羽 浩 安藤 淳一 牛田 英哲 内海 洋 小池 隆史 佐藤 秀彦 西村 宣彦 藤木 幹久 山口 規子
欠席委員	なし
事 務 局	財務部長 高橋 直樹 契約管財課長 花田 秀樹 契約管財課主査 木村 勇人 契約管財課主事 宮本 歩侑 地方公共団体金融機構アドバイザー 川崎 香成
傍 聴 者	1名
会議次第	1 開 会 2 副市長あいさつ 3 検討委員会委員・事務局紹介 4 委員長及び副委員長の選出 5 委員長あいさつ 6 議 事 (1) 公共施設等の現状と今後の在り方について (2) 計画策定方針について (3) その他 7 閉 会 ※配布資料 ・委員名簿 ・公共施設等の現状と今後の在り方 ・市民アンケート調査結果 ・公共施設等総合管理計画改訂に向けたポイントと全国的な傾向 ・北広島市公共施設等総合管理計画（現計画） ・北広島市公共施設等総合管理計画策定検討委員会設置条例

1 開 会

委員の過半数が出席していることから、委員会は成立していることを確認。
委員会を公開とする旨確認し、傍聴人を会場へ案内。

2 副市長あいさつ

3 検討委員会委員・事務局紹介

4 委員長及び副委員長の選出

委員長に安藤委員、副委員長に西村委員を選出

5 委員長あいさつ

6 議 事

議事録署名委員に天羽委員、牛田委員を指名

(1) 公共施設等の現状と今後の在り方について

事務局から資料について説明

(2) 計画策定方針について(意見交換)

・総合管理計画はあくまでも方向性の総論的な部分となるので全体を見たときの今後 10 年間の方向性をどう位置付けるかを決めなくてはならないかと思う。

・個別施設計画で分野別の方針は出ているが、総合管理計画の方にもある程度明確な方向性を出していかななくてはならないと感じる。

・総論だけだと中々具体的な意見が出てこないのが、様々なジャンルの委員が出席されているため、それぞれの分野別に議論していくもの一つかと思う。

・北広島市は 5 つの地区に分かれていて、それぞれ地区で類似した施設があるといった中で地域の状況もあるので一筋縄ではいかない部分もあるかもしれないが、そういった地理的条件を加味した上で計画を作れると良いと感じる。存続させるにしても今後 10 年、それ以降を考えたときにどういった形で維持するのか、例えば管理形態を変えるとかも考えなくてはならない。

・エリアマネジメントの観点から地区毎に検討を進めていくのは良いと思う。

・施設の利用者も今までの 10 年とこれからの 10 年では高齢化がより進んでいくと変わっていくと思う。近くに規模が大きい会館等があれば地区の小さな集会施設は利用者が減っていくと思う。町内会も高齢化が進み担い手不足といった課題がある中で、使用状況を見たときに一定程度の整理をするのはやむを得ないと感じる。実際に市に返還された施設があるという話も聞こえてくるので。

・ホームページに掲載されている公共施設カルテなどを参考にすると施設全体が見られるので、次の会議ではこのような資料がまとまってあると、イメージしやすい

と感じる。

- ・計画を作る目的を考えたときにまず第一に地域住民がその地域で安心して暮らせる環境づくりが重要。その中で利用者が少ないといった理由だけで施設を廃止するわけにもいかないの、地域の実情だとかを踏まえて考えなくてはならない。ただし、客観的指標として施設毎のランク付けみたいなものは行う必要があると思う。

- ・アンケート調査結果を見ると、規模や配置を見直すことには大多数の方が賛成との見解を示していることから見直す方向でもっていくことは問題ないかと思う。確かにすべてを存続させることができれば一番の理想だと思うが、やはり無駄と考えられるものは減らしていくことが重要だと思う。

- ・市民全員のウェルビーイングを考えてはいつまでたっても話が進まないの、見え方は少々乱暴になるかとも思うが、整理すべきところは整理を進めていかなくてはならないと考える。

- ・民間の施設を借上するというようなことも選択肢の一つとして考えられると思う。市が所有し、運営するといったこれまでの形態を見直すのも手段として検討すべき。

(3) その他

事務局から次回の委員会(5月予定)のスケジュールを説明。

7 閉 会